

英語力アップの道しるべに、学校や職場でのステップアップ要件に——  
TOEICが人生を彩ってくれた、という方々が登場

今月のとーいっかー

8カ月で

300点台 → 700点  
突破

うえだ とも のぶ  
上田智延さん  
会社員



Tomonobu Ueda

一部上場事務機器メーカー広報部勤務。会社の事業内容がグローバル化したため、また、課長昇格に際してTOEICテストで600点が必要になったため、「わらにもすがる」気持ちで英語学校「フォービー」のTOEICテスト対策講座を受講。猛勉強の結果、8カ月で目標の600点を大きく上回る705点を見事獲得した。

昇格要件、事業内容のグローバル化——  
TOEICからはもう逃げられなかった

いよいよ職場で必要に——  
一念発起で英語学習を決意

大手事務機器メーカーの広報部に勤める上田智延さんが、英語学習を始めようと決心したのは1年ほど前のこと。その理由は、勤務先の会社が海外へ積極的に事業展開することになり、ニュースリリースや記者発表などの広報活動を英語で行う必要性が急激に高まったことにある。アメリカやヨーロッパ、アジア諸国など、海外支社の広報担当者に連絡したり指示を出したりするために、英語で電話やメールのやりとりをする機会が一気に増えた。

「しばらくは、自分は国内案件に専念していればよく、英語の電話を取ってしまったらすぐ他の人に代わ

ってもらったり、英文メールの内容は誰かに聞いたりしていました。でも、部署の業務にグローバルな案件が増え、英語を避けてばかりいては周囲に迷惑を掛けると思うようになったのです。また、課長昇格に必要なTOEICテストのスコアが、500点から600点に引き上げられることになり、早急に英語力を上げなくてはと感じました」。

とはいえ、TOEICテストを最後に受験したのは2006年のこと。昇格要件になったので当時仕方なく受験したが、何も準備せずに受けたためスコアは355点だった。それでも業務自体に支障はなく、スコアの低さは気にもならなかった。しかし、今回は状況が異なる。「何かしらないと!」と焦っていた昨年

の7月、最寄り駅で英語学校のTOEICテスト対策講座の看板が目に入った。そこには「700〜800点を目指す方に」とあり、自分の英語レベルでは難しいことは承知の上で、わらにもすがる思いで受講に臨んだ。

タイムマネジメントを  
身に付けてスコアが大幅アップ

いよいよ始まったTOEICテスト対策講座7回コース。少人数制で先生からみっちり指導を受けることができた。

授業では、まず、オリジナルテキストでパートごとに出题形式やポイント、解答のコツを学ぶ。その後、公式問題集を使って実践練習を行う。「先生からは、最初にタイムマネ

ジメントの重要性とコツを教わりました。各パートの制限時間内にかに全問をマークするか。効率良く解答するための練習を繰り返しました。特に私は、英文を読むスピードが遅いため、例えば、パート3などでは音声の流れる通りに指示文↓問題文↓設問と順番に聞いて解いていては、全問解答どころか選択肢全てに目を通すこともできません。先生からは問題文の流れる前に問題用紙の設問と選択肢を先読みするよう指導を受け、読むスピードを上げる練習もしました。また、リスニング対策では『聞き取れないのは話せないから』と先生から言われ、長い英文の聞き取りが苦手なパート3、4を中心に音読、特にシャドーイングを行いました」。

とーいっかー年表 (IPテスト含む)

1992年

**4月 325点** 入社時に同期全員が受験。大学時代は必修科目以外の英語学習はせず、入社後も英語に触れないまま14年が過ぎた

2006年

**4月 355点** 昇格要件にTOEICスコア 500点取得が加わったため、特に準備もせずに受験。その後も英語は勉強しなかった

2012年

**7月** 業務上、英語が必要になり、TOEICの受験勉強開始を決意。英語学校「フォービー」の門をたたき、文法や語彙等は基本的に自学自習

タイムマネジメントと音読重視の授業を受ける

語彙シートを自作し通勤電車の中で覚える

息子の英文法参考書を借りて読む

**9月 585点** 学校の授業を受け始めて2カ月(7回コース修了後)に受験。目標の600点にはわずかに届かなかった

**10月 510点** 目標を意識し過ぎたせいで大幅ダウン

**11月 505点** 目標からさらに遠のく。ダラダラ受けず、翌3月の600点突破を目指そうと決意。基礎からの猛勉強開始

**12月~2月** 週1回の「フォービー」の授業。先生から弱点強化に特化した問題プリントを毎回もらい、理解できるまで何度も解いた。自習では語彙・文法力、苦手な長文聞き取り強化、模擬問題集・公式問題集を徹底活用。

語彙シートの他、自作の文法ノート

公式問題集のPart 3,4を音読(やっとな音読の重要性がわかる)など

Part 5,6対策

Vol. 3~5を繰り返し解く

2013年

**3月 685点 (IP)** 公式テスト受験までの1週間は特に集中して勉強。その結果、**705点 (公開)** 目標の600点を100点上回るスコアを獲得。課長昇格の資格も得た

2日に1回は午前中に模擬試験を解き、午後は復習

英語力をつけざるを得ない現実を受け止め、学校の授業と自学自習をめりはりをつけながらこなし、目標をクリアした上田さん。その英語ライフは、これからますます充実していきそうだ。

フォービー「TOEICテストスコアアップ直前対策講座」

日程：毎週土日いずれかで1回90分×7回

対象レベル：スコア600~700点(上田さんは特例)

目的：700、800点突破

教材：①オリジナルテキスト、②『TOEIC®テスト新公式問題集Vol.4』(国際ビジネスコミュニケーション協会)

授業内容：タイムマネジメントと音読の指導を中心に、①でTOEICテストの概要および各パートの特徴・出題形式・ポイントを押さえ、解法テクニックを身に付ける。その後、②を使って繰り返し実践練習を行う。授業は少人数制で、受講生のレベルに合わせて、それぞれの弱点を強化する指導を行い、スコアアップをサポートする。

上田さん自作の教材

語彙シート



公式問題集から単語を抜き出しエクセルで作成。毎日、通勤電車の中で3~5枚(72~120語)目を通す

文法ノート



中学校の文法参考書から重要項目を整理して製本。現在完了と関係代名詞が苦手

授業以外でも自分なりに工夫して学習した。「語彙力を付けるために、公式問題集から、わからない、あるいは重要だと思える単語・熟語を抜き出してエクセルに打ち込み、語彙シートを作り直しました。これを通勤電車の中で繰り返し見て覚え、それがひと通り終わったら、公式問題集のCDを聞きました」と語る上田さん。また、中学1年生の息子さんに英文法の参考書を借りて、文法の復習にも力を入れた。

そうした努力の結果、9月のテストでは585点を獲得。6年前の355点からは大幅なスコアアップだったが、目標の600点にわずかに届かなかった。その後、10月、11月と連続して受験するが、力が入り過ぎたのか、かえって目標スコアから

遠のく始末。そこで上田さんは決意を新たにす。翌年3月に必ず600点を突破すると誓い、それまでは受験勉強に専念することにしたのだ。

**工夫を重ねて猛勉強の結果 ついに目標スコア達成**

上田さんの猛勉強が始まった。7回コースを修了後も、週1回90分のプラスアルファ授業を英語学校で受講していたが、先生から弱点を強化するための問題プリントを毎回もらい、理解できるまで繰り返し解いた。また、文法力強化のため、重要項目を自分なりにまとめた文法ノートを作成。「こうやって自分でポイントを抜き出してまとめることが英語のインプットとアウトプットになって、より頭に入るんです」。

「12月から2月までの3カ月間は、平日は毎日2時間、土日は1日6~8時間は勉強していました。3月の受験直前に、勤続20年の記念休暇を2週間もらったのですが、そのうちの1週間はTOEICテスト対策に充てて、必死で勉強しました」。

そして、3月に入ってまず受けたIPテスト(団体一括受験)では685点、1週間後の公開テストでは見事、705点を獲得したのだ。「本当にうれしかったです。目標スコアに到達できただけでなく大きく上回ったことで、英語へのアレルギーがだいぶなくなり、自信がつきました。今では、英語の電話もとりあえず対応してみるし、メールもまずは自分で内容を確認してわからないところを周囲に聞くようにしています。早く英語でニュースリリースを作成したり、プレゼンできたりするようにになりたいですね。いずれは800点突破を目指そうと思うが、今のところTOEICテスト対策はひとまず休み、英会話力を伸ばすという新たな目標を立ててステップアップに励んでいる。